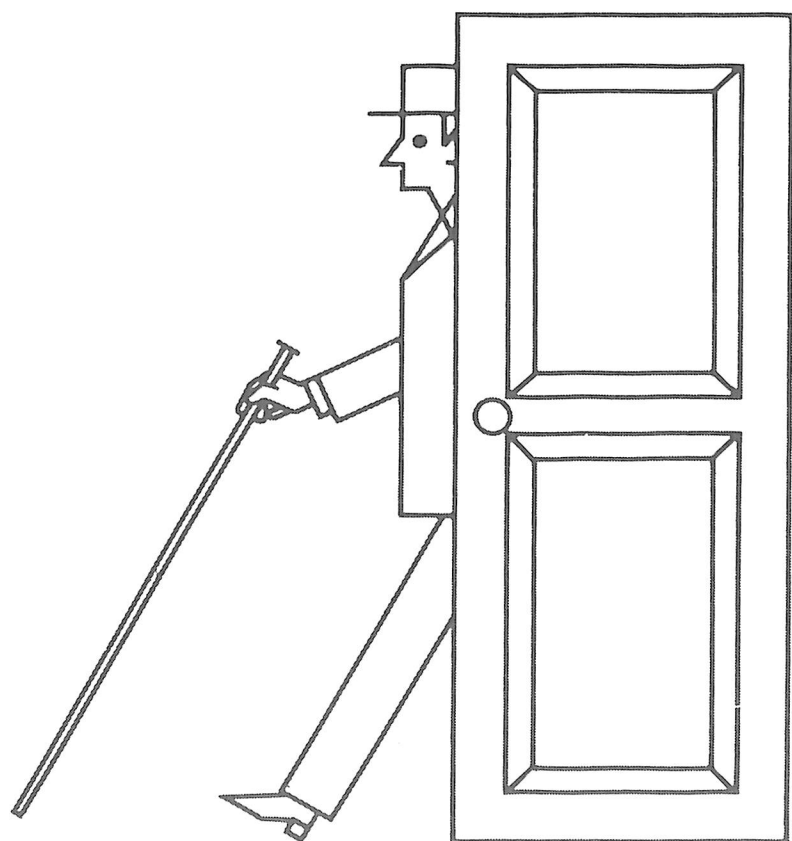


視覚障害者労働白書

1982年増補版

日本盲人福祉研究会



視覚障害者労働白書

1987年増補版

—職業に関する資料集—

日本盲人福祉研究会

増補版の序に代えて

日本盲人福祉研究会

本書の1985年版を刊行したとき、予定では2年ごとに改訂版を出すことにしていました。ところが最も中心になる厚生省のデータに新しいものが少なく、検討の結果、費用もかかることなので、改訂版を出すこともないという結論になりました。しかし、新しい数字がまとめられているものや新たに付け加えたい資料もあったりしたため、今回は改訂版ではなく増補版として刊行することになりました。

したがって、1985年版と変わらない資料については、この増補版には収められておりません。増補版だけでなく、1985年版と併せてお読みいただきますと、視覚障害児・者に関するほとんどすべてのデータをお手元で確めることのできる画期的な資料集になるものと思われます。

この白書を御活用いただいている方々からは、本書の内容についてたいへん御好評をいただいております。できるだけ新しいものを提供していかなければ、この種の資料集の価値はないと考えておりますので、1989年にはぜひ改訂版を出したいと今から準備を進めております。御利用いただく皆様の力強い御支援を心からお願い申し上げます。

今回も前回の初版のときと同様、資料の収集をはじめ検討・分析などほとんどすべてを東京都心身障害者福祉センターの谷合侑氏にお願いしました。氏の献身的な御協力により、新しいデータの満載した増補版が、当初の予定だった2年目にできたことに対し、氏に心からの謝意を表したいと思います。

皆様のお仕事の役に立てば幸甚です。

1987年1月

〔本書を読む際の手引〕

1. 章では前回（1985年版）と同じにした。
2. 節の中で新資料のない所はぬかし，新しい番号にした。
3. 項目の中で新資料のない所もぬかし，新しい番号にした。
4. 図表番号のうしろの（ ）内の番号は，前回（1985年版）のものである。
照合して見ていただきたい。
5. 図表の表題のあとに付した印は，次の通りである。

さしかえ	1985年版のものを，全面的にさしかえたもの。
新	1985年版になかった新しい図表。
追加	1985年版のものに，昭和59年度および昭和60年度の資料を追加したもの。
6. 授産施設等についての新規調査は，今回は実施しなかった。

目 次

第 1 章 視覚障害者の実態	1
1. 視覚障害者の数	1
2. 障害原因	2
第 2 章 視覚障害児(者)のための教育	6
1. 盲学校における教育	6
2. 幼稚園・保育園, 小学校, 中学校および高等学校 における教育	9
3. 高等教育機関における教育	10
第 3 章 中途失明者のリハビリテーション	12
1. 生活訓練の内容と諸制度	12
(1) 歩行訓練士の施設・学校別配置状況	12
(2) 盲導犬の利用状況	12
(3) 点字図書・録音図書の利用状況	12
(4) オプタコンの普及状況	12
第 4 章 職業教育・訓練	17
1. 盲学校における職業教育	17
(1) 理療科	17
(2) 理学療法科	17
(3) 音楽科	17
(4) ピアノ調律科	17
2. 施設における理療師の養成	20
3. 施設における理療以外の職業訓練	21
(1) 国立職業リハビリテーションセンター	21
(2) 日本ライトハウス職業・生活訓練センター	21
(3) 日本盲人職能開発センター	24
第 5 章 職業紹介と進路・就職状況	25
1. 盲学校卒業生の進路・就職状況	25
2. 理療師養成施設卒業生の進路・就職状況	29

3. 関東・甲・信地区盲学校・養成施設卒業生の進路・就職状況	31
4. 地方自治体の採用状況	35
5. 神奈川県における視覚障害者の就労状況	37
6. 京都府における視覚障害者の就職状況	39
第6章 就業状況	41
1. 全般的就業状況	41
2. 分野別就業状況 A —理療業	46
3. 分野別就業状況 B —一般企業等への就職	55
4. 分野別就業状況 C —専門的分野	62
5. 分野別就業状況 D —理療業以外の自営業を中心に	64
第7章 援護・援助の諸制度	68
1. 更生援護施設	68
2. 生活への援助(特に改正された年金制度について)	68
3. 職業への援助	74
第8章 雇用・就労の促進	76
1. 雇用・就労のための諸施策	76
2. 雇用・就労のための運動	80
ま と め	84

第1章 視覚障害者の実態

1. 視覚障害者の数

【新資料】 (1) 「特殊教育資料 昭和60年度」文部省

(2) 「全国小・中学校弱視学級実態調査報告書－昭和60年度－」

昭和61.3 国立特殊教育総合研究所視覚障害教育研究部

なお、厚生省調査は昭和62年の予定になっている。

資料(1)により、視覚障害者の数を修正すると、下表の通りである。

(1) 18歳以上の在宅者	336,000 人
(2) 18歳以上の社会福祉施設入所者	8,982
(3) 盲学校幼児・児童・生徒	6,780
(4) 弱視学級児童・生徒	277
(5) 乳幼児および保育園・幼稚園の在園者	X
合計	352,039 + X 人

今回の修正箇所は(3)、(4)の2カ所である。その変化をみると、

(ア) 盲学校幼児・児童・生徒数(表1-1)は、昭和57年に比べると、3年間で10%減である。

(イ) 弱視学級児童・生徒数(表1-2)は、同じく3年間で12%減である。ただし、資料(2)によると、弱視学級への通級児童・生徒の数を含めると、406人となっている。

表1-1(表1-3) 盲学校の現状 さしかえ

(60.5.1 現在)

区 分		学校数	幼 児 ・ 児 童 ・ 生 徒 数							
			計	幼稚部	小学部	中学部	高 等 部			
							小 計	本 科	専攻科	別 科
盲 学 校	計	72	6,780	184	1,265	1,212	4,119	2,280	1,728	111
	国 立	1	249	6	36	40	167	77	90	—
	公 立	69	6,402	170	1,213	1,158	3,861	2,141	1,609	111
	私 立	2	129	8	16	14	91	62	29	—

表1-2 (表1-4) 特殊学級の現状 さしかえ

特殊学級数及び特殊学級在籍児童生徒数 一 国・公・私立計一

(60.5.1.現在)

障害種別	小 学 校		中 学 校		合 計	
	学 級 数	児 童 数	学 級 数	生 徒 数	学 級 数	児 童 生 徒 数
精 神 薄 弱	10,537	48,277	5,723	29,355	16,260	77,632
肢 体 不 自 由	219	825	115	347	334	1,172
病 弱・身 体 虚 弱	542	3,066	112	464	654	3,530
弱 視	64	201	24	76	88	277
難 聴	390	1,527	114	450	504	1,977
言 語 障 害	1,330	7,385	86	273	1,416	7,658
情 緒 障 害	2,013	8,348	764	3,398	2,777	11,746
計	15,095	69,629	6,938	34,363	22,033	103,992

(注) 上記のうち、国立及び私立の学級数(児童生徒数)は次のとおりである。

国立小学校 精神薄弱24学級(129人)

中学校 " 22学級(169人)

私立小学校 " 2学級(13人) 情緒障害21学級(299人)

中学校 情緒障害7学級(129人)

2. 障 害 原 因

【新資料】 「全国盲学校及び小・中学校弱視学級児童生徒の視覚障害原因等調査結果 — 1985」大川原潔ほか

なお、厚生省調査は昭和62年の予定になっている。

資料により、障害原因を前回資料(1980年)との変化でみると、次の通りである。

- (ア) 視覚障害原因(表1-3, 図1-1)では、増加しているものは、中毒3%増、腫よう1.7%増、外傷0.4%増、減少しているのは、先天素因6.4%減となっている。
- (イ) 眼疾患の部位(表1-4, 図1-2)では、増加しているものは、網脈絡膜疾患5.2%増、視束視路疾患2.2%増、減少しているものは、眼球全体4.8%減、水晶体疾患1.8%減となっている。
- (ウ) 視覚障害発症年齢(表1-5)では、0歳が4.7%増、10～19歳が1%増で、20～29歳が1%減となっている。
- (エ) 小・中学校弱視学級児童生徒の視覚障害原因(表1-6)では、増加しているものは、伝染性疾患・外傷・腫ようで、減少しているものは、中毒・先天素因である。
- (オ) 弱視学級児童生徒の眼疾患の部位(表1-7)では、増加しているものは、角膜疾患・水晶体疾患・ブドウ膜疾患・視束視路疾患で、減少しているものは、眼球全体・網脈絡膜疾患となっている。
- (カ) 盲学校児童生徒の視覚障害原因の推移を1910年からみると、表1-8の通りである。
- (キ) 弱視学級児童生徒の視覚障害原因の推移を1972年からみると、表1-9の通りである。

表 1－3（表 1－16） 視覚障害の
原因別分類 さしかえ

伝 染 性 疾 患	1.2 %
外 傷	3.3 %
中 毒	13.7 %
腫 瘍	5.5 %
全 身 病	4.4 %
先 天 素 因	60.5 %
原 因 不 明	10.8 %
無 記 入	0.5 %

表 1－4（表 1－17） 眼疾患の部位に
よる分類 さしかえ

眼 球 全 体	29.5 %
角 膜 疾 患	3.5 %
水 晶 体 疾 患	13.9 %
硝 子 体 疾 患	0.6 %
ブドウ膜疾患	2.0 %
網脈絡膜疾患	35.7 %
視束視路疾患	13.8 %
無 記 入 ・ 不 明	0.9 %

図 1－1（図 1－4） 盲学校児童生徒の
視覚障害原因別分類 さしかえ

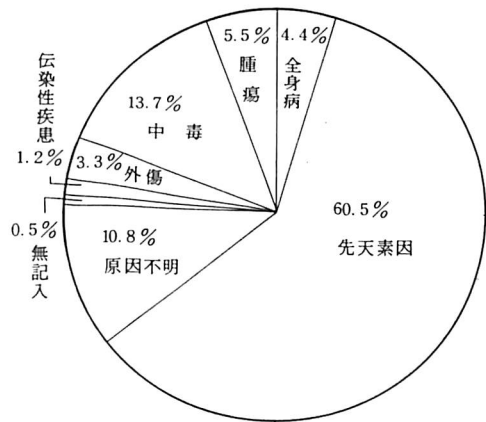


図 1－2（図 1－5） 盲学校児童生徒の
眼疾患の分類 さしかえ

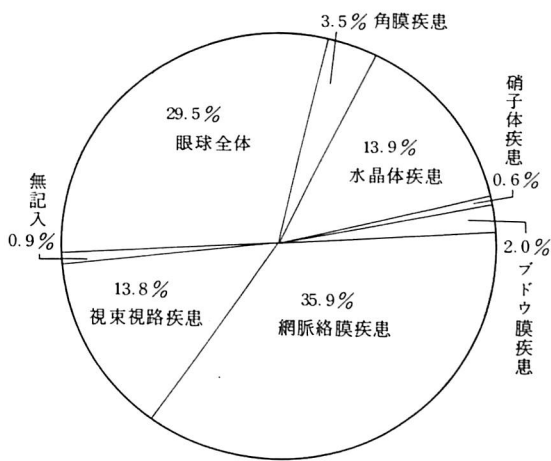


表 1－5（表 1－18） 盲学校児童生徒
の視覚障害発症年齢（障害に気付い
た時期） さしかえ

障害発生年齢	人 数	百分率(%)
0 歳	4,120	61.8
1 歳 未 満	159	2.4
1～2 歳未満	157	2.4
2～3 歳未満	112	1.7
3～4 歳未満	116	1.7
4～5 歳未満	72	1.1
5～6 歳未満	93	1.4
6～7 歳未満	115	1.7
7～8 歳未満	62	0.9
8～9 歳未満	51	0.8
9～10歳未満	51	0.8
10 ～ 19 歳	501	7.5
20 ～ 29 歳	236	3.5
30 ～ 39 歳	211	3.2
40 ～ 49 歳	94	1.4
50 ～ 59 歳	12	0.2
60 歳 以 上		
無 記 入	358	5.4
不 明	147	2.2
合 計	6,667	100.0

表 1－6（表 1－19） 小・中学校別
視覚障害原因(%) さしかえ

視覚障害原因	小 学 校 弱視学級	中 学 校 弱視学級
伝 染 性 疾 患	0.6	1.1
外 傷	2.0	1.1
中 毒	8.1	12.1
腫 瘍	2.3	1.1
全 身 病	0.3	
先 天 素 因	69.2	53.9
原 因 不 明	16.6	22.0
無 記 入	1.0	8.8

表 1－7（表 1－20） 小・中学校別
眼疾患の部位(%) さしかえ

眼疾患の部位	小 学 校 弱視学級	中 学 校 弱視学級
眼 球 全 体	36.4	38.5
角 膜 疾 患	2.6	1.1
水 晶 体 疾 患	27.3	22.0
硝子体疾患	1.0	
ブドウ膜疾患	1.0	1.1
網脈絡膜疾患	18.8	20.9
視束視路疾患	11.4	7.7
無記入・不明	1.6	8.8

表 1－8 盲学校児童生徒の視覚障害原因の推移 (新)

調査年次 視覚障害原因	1910 ～29 (%)	1952 (%)	1954 (%)	1959 (%)	1964 (%)	1970 (%)	1975 (%)	1980 (%)	1985 (%)
伝 染 性 疾 患	36.5	18.1	16.1	12.5	9.96	3.7	1.7	1.7	1.2
外 傷	3.5	4.5	4.1	3.8	3.76	2.2	3.1	2.9	3.3
中 毒		0.5	0.2	0.2	0.22	1.6	5.4	10.7	13.7
腫 瘍	0.9	0.5	0.3	0.3	0.64	1.8	2.6	3.8	5.5
全 身 病	16.4	13.0	8.4	9.1	6.60	4.4	4.52	4.3	4.4
先 天 素 因	29.7	52.3	56.6	71.6	59.16	80.9	76.5	66.9	60.5
原 因 不 明	13.7	11.0	14.3	2.5	19.65	6.4	6.1	8.6	10.8
無 記 入								1.2	0.5
人 数	988	3,645	7,032	8,686	9,935	8,873	8,464	7,799	6,667

(備考) 1959年には554人, 1964年には890人の光明寮(国立視力障害センター)等入所者を含む。

表 1－9 小・中学校弱視学級児童生徒の視覚障害原因の推移(%) (新)

原因 年度	伝 染 性 疾 患	外 傷	中 毒	腫 瘍	全 身 病	先 天 素 因	原 因 不 明	無 記 入	調 査 人 数
1972年	0	1.5	4.6	0.5	0.5	66.0	26.9		197人
1980年	0.2	0.9	12.9	1.8	0.2	71.5	11.8	0.7	449人
1985年	0.8	1.8	9.0	2.0	0.3	65.7	17.8	2.8	399人

立ち読み版はここまでとなっております。

続きをお読みにになりたい場合には
社会福祉法人 視覚障害者支援総合センター
までお問い合わせください。

視覚障害者労働白書 1987年増補版

—— 職業に関する資料集 ——

1987年 3 月 1 日発行

定価 1,000 円

(送料 200 円)

発行者 日本盲人福祉研究会

発売元 日本点字図書館用具部

〒160 東京都新宿区高田馬場 1 - 23 - 4

電話 03(209)0241

振替 東京 5 - 44522

印刷所 東京コロニー コロニー印刷
